

目次

I. 平成 31 年度総括研究報告書

患者・国民の医療への主体的な参加を促す患者つながりサポートシステムの構築に関する研究	1
--	---

中島和江

II. 資料

【資料 1】ヘルスケアへの患者参加(patient engagement)に関する国際的動向

1) 閣僚級世界患者安全サミットにおける Person-centered care の推進	45
2) 患者参加の国際的潮流と学術雑誌の取り組み	55
3) 「患者参加」のイノベーション－台湾における協働型意思決定の 全国キャンペーン	80
4) PatientsLikeMe～患者向け健康情報シェアサイト～	105

【資料 2】方針決定への参画/対話推進ハブモデル

1) がん対策における患者協働型医療の推進	107
2) 患者家族・遺族の視点からのピア・サポートと、協働する医療安全	111

【資料 3】健康への関心芽生え促進モデル

- 1) 施設や地域の枠を越え、大阪府全体で団結して腎臓病予防啓発活動を行う

「大阪慢性腎臓病対策協議会 (O-CKDI)」の設立と展開 122

【資料 4】プロフェッショナルとの協働モデル

- 1) 医療安全への患者参加支援プログラム～「阪大病院いろはうた」の開発・導入・

展開～ 133

- 2) 腎不全医療における療法選択および腹膜透析治療における Shared Decision

Making の推進 141

- 3) CBR matrix を用いて慢性疾患患者支援のための社会的処方を考える 147

- 4) 「薬局薬剤師は患者の伴走者に！」～薬局での薬剤師による生活習慣改善支援の

可能性 153

- 5) 学生や医療者等が「実感する」ことのできる劇場型教育法 160

【資料 5】ICT による自己管理支援モデル

- 1) 過疎・高齢化・医療リソース不足環境下の地域医療に果たす ICT の役割と

その阻害要因 170

- 2) 化学療法におけるセルフマネジメントをサポートするアプリ開発 179

【資料 6】地域での専門職や他患者との緩いつながりモデル

- 1) マギーズ東京および系列施設におけるがん患者支援の取り組み 186
- 2) 地域に根差した統合ケア推進拠点としての認知症カフェの取り組み 191

【資料 7】 ピアサポートモデル

- 1) 腹膜透析医療における Peer-to-Peer ネットワーキングの有効性 195
- 2) 阪喉会における患者支援の取り組み 203

【資料 8】 患者側弁護士からみた医療安全と患者参加

- 1) 患者側弁護士の取り組みからみた患者医療者関係について 208

【資料 9】 オープン・イノベーションによる新たな社会システムの創造

- 1) オープン・イノベーションによる新たな社会システムの創造] 211

【資料 10】 患者の必要とする情報及びピアサポートに関する患者アンケート調査の結果

- 1) オープン・イノベーションによる新たな社会システムの創造 214